

平成31年度 学校経営重点計画

学校番号 (23) 学校名 (熊本市立清水小学校)

学校教育目標
「互いを認め、支えあい、伸ばしあう学校」 ～ 「いいね！」がつくるエンパワーメントスクール ～

現状と課題
<p>1 数年前には落ち着かない時期があったが、最近は子どもたちも落ち着き、授業へも集中して取り組むようになってきている。学力向上は課題である。</p> <p>2 自己肯定感や自己有用感が低い児童が多く、他者のよさや違いを認めることができずに、攻撃したり、排除するような行為に出る場面がみられた。昨年度よりの「いいね！」の取り組みが浸透しつつあり、認められる場面が増えてきた。</p> <p>3 経済的に厳しい家庭が多い。親子での適切なコミュニケーションがとれていないと思える家庭の一部に、基本的な生活習慣が身につけていない、さらには、規範意識の低い子どもが見られる。</p> <p>4 共通理解、共通実践を心がけてきた結果、チームとしての職員意識は高まっている。若手の教師も多く、ベテランに習いながら頑張っている。ミドルリーダーが少ないが、校務分掌の重要なポジションで取り組んでいる。</p>

校長としての経営のポイント
<p>○授業力の向上を目指す校内研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語に重点をおいて取り組む ・新学習指導要領が示す視点の理解と試行 ・道徳の評価の充実 ・児童が活躍する特別活動や学校行事 ・学習規律の徹底 ・ICTの効果的な活用 ・効果的な少人数指導 <p>○「いいね！」がつくる支持的風土を持つ集団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の頑張りを見逃さない教職員の感性 ・児童が認めあい主体的に学ぶ授業展開 ・効果的な生徒指導の充実 <p>○共通実践の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年会、主任会での共通実践の確認、評価。 ・具体的な指導事項を統一。

変容した学校の姿
<p>○子ども一人ひとりが、授業や学校生活の中で生き生きと活躍し、自ら自分の未来を切り開く学校。</p> <p>○あいさつが溢れる学校。自ら先にあいさつする児童。</p> <p>○職員一人ひとりが学校目標を意識し、清水小の子どものために、協働して実践に取り組む学校。</p>

	重点目標	評価指標	主な具体的方策
徳	○友達のよさを認めあい、自己肯定感を高める	・「友達のよさを見つけることができた」「自分にはいいところがある」と感じる児童の割合を70%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の場や学校生活の場で「いいね～」という肯定的な声かけを行っていく。 ・児童主体の「あいさつ運動」の実施。 ・学校行事等で児童が主体的に動き活躍できる場を設定する。 ・挨拶のレベルアップ（自分から先にするあいさつの指導）
知	○45分の授業を大切に、自分の言葉で、自分の意見を発表できる児童を育てる。	・自分の言葉で意見を発表できると答える児童の割合を70パーセント以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な習熟度別の少人数指導のあり方の改善 ・チャイムで授業開始、チャイムで授業終了の徹底 ・授業の「めあて」の明確化と授業後の「振り返りの場」の設定 ・友達の意見を聞き、「いいね～」と肯定する言葉かけ。（教師自身も） ・ICTの効果的な活用

◇働き方改革について

	目標	現状	評価指標	主な具体的方策
目標1	正規の勤務時間外の在校時間が1ヶ月80時間を越える教職員数が0人にする。	・昨年度は在校時間が1月平均80時間を越える教職員が教頭1人であった。	・今年度は1月平均80時間を越える職員を0人とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設時間の設定を明確にし、タイムマネジメントの意識を徹底する。 ・ノー残業デーの徹底。 ・教頭の定時退勤日を設定する
目標2	教職員の正規の勤務時間外の在校時間を25%減にする。	・昨年度は、教職員の正規の勤務時間外在校時間は13601時間となり、一人当たりの平均が453時間/年。1月当たり37.8時間となっている。	・年間の時間外在校時間を昨年同様の時間を維持できるようにする。1月あたり40時間を超えないようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設時間の設定を明確にし、タイムマネジメントの意識を徹底する。